



2022年8月12日

各位

会社名 共同ピーアール株式会社

代表者名 代表取締役社長 谷 鉄也

(コード番号：2436)

問合せ先 取締役コーポレート本部本部長 信澤 勝之

(TEL：03-6260-4850)

2022年12月期第2四半期業績予想と実績との差異 及び2022年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年2月14日付で公表した2022年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、その内容をお知らせいたします。また、通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期第2四半期累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日） の業績予想との差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,959	238	240	151	37円28銭
実績値(B)	2,208	429	449	336	81円00銭
増減額(B-A)	249	191	209	185	—
増減率(%)	12.7	80.6	87.3	122.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	—	180	188	113	28円38銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,440	203	203	128	31円53銭
実績値(B)	1,594	326	340	228	55円11銭
増減額(B-A)	154	123	137	100	—
増減率(%)	10.8	60.8	67.8	78.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	—	180	184	112	28円02銭

(3) 第2四半期業績予想値との差異の理由

当第2四半期累計期間における個別業績においては、国内及び海外のIT・情報通信・テクノロジー関連クライアントや、国内フードビジネス・食品・飲料関連クライアントを新規に獲得し、リテイナークライアント数は前年同期に比べ大幅に増加しました。オプション&スポット案件については、リテイナークライアントからの追加案件の獲得や、新規顧客からのPRコンサルティング案件やオンライン記者会見、危機管理コンサルティング案件等を獲得いたしました。一方で、当第2四

半期累計期間における連結業績においては、共同ピアーール単体業績が計画を大幅に上回ったこと及び、映画専門のPRコンサルティングを手掛けるマンハッタンピープルにおいて、受託案件の増加や利益の改善により、大幅な増益となりました。

また、インフルエンサーマーケティング事業を手掛けるVAZにおいては、共同ピアーールグループ会社との連携による大型案件の受注の他、インフルエンサーの登録者数の漸増、自社チャンネル「Me!TV」の再生回数の回復など好材料が揃い、案件の問い合わせの増加による受託案件数が増加したことにより、第1四半期に続き、第2四半期においても利益を継続して出すことができました。

これらの結果、連結および単体業績が計画以上に推移したため、売上及び利益ともに予想を大幅に上回る結果となりました。

2. 2022年12月期通期（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績予想の修正

（1）連結

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,098	451	450	283	69円90銭
今回修正予想（B）	4,700	685	700	468	112円82銭
増減額（B-A）	602	234	250	184	—
増減率（%）	14.7	51.9	55.6	64.8	—
（ご参考）前年実績 （2021年12月期）	—	381	392	131	32円53銭

（2）個別

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	2,928	405	405	255	62円91銭
今回修正予想（B）	3,200	590	600	394	94円97銭
増減額（B-A）	272	185	195	139	—
増減率（%）	9.3	45.7	48.1	54.5	—
（ご参考）前年実績 （2021年12月期）	—	328	338	115	28円47銭

（3）通期業績予想の修正の理由

2022年12月期通期連結業績及び単体業績につきましては、第2四半期累計期間において、共同ピアーール単体の業績が計画を上回ったこと及び、共和ピアーール及びマンハッタンピープル、株式会社VAZの子会社の第2四半期累計期間の結果を踏まえ通期計画を見直したことに並びに、5月30日付で株式会社キーウォーカーを連結子会社化した影響を鑑みて、前回公表の業績予想を修正いたしました。

以上により、2022年12月期通期単体業績については、売上高は前回予想比272百万円増の3,200百万円となる見込みです。営業利益は同185百万円増の590百万円、経常利益は同195百万円増の600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は139百万円増の394百万円を見込んでおります。また、2022年12月期通期連結業績については、売上高は前回予想比602百万円増の4,700百万円となる見込みです。会社株主に帰属する当期純利益は184百万円増の468百万円を見込んでおります。

■ 見直しに関する注意事項

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と大幅に異なる場合があります。

以上